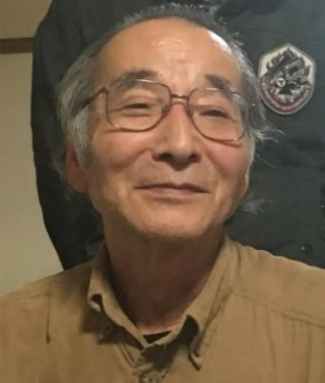


TOMOI R&D					
業種	製造業	事業所所在地	大阪府八尾市	資本金	10,715千円
				従業員数	4名

		被承継者 (左)	
		友井 健夫	74歳 ※承継時
		承継者 (右)	
		友井 隆之	46歳 ※承継時
事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年	12月	子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
建築関連の金属加工業 主に階段や手摺、庇やフェンスなどの金属製品の製造と施工。主に受注製作品をデザインから設計・製造・施工までを行ってきた。		・新市場への参入 建築業界の価格競争などにより利益の低迷と受注数が低下した。また受注が不安定で事業を計画的に行うことが難しくなっていた。より安定した受注と利益を得るために新市場への参入と自社製品の開発が重要な課題となっていた。	

事業承継を実行するまで			
きっかけは？	承継計画の立案		承継までの不安と準備
承継実行の	7年前	被承継者と承継者で話し合ったこと	被承継者の承継に対する不安
ライブハウスなどのデザイン施工を行った際に、ステージに関係する市場に多くのニーズがあることに気が付いた。丁度そのころ奈良県で行われた「なら国際映画祭」で映像を投影するスクリーンのおおきな可能性に気づき、ステージとスクリーンに関する業務を試験的に開始するきっかけとなった。		基本的な経営の見直し、新事業についての考え方（会社の利益だけでなく、社会に貢献する仕事である事）、新事業のマーケット、その時点での借入金などの状況や具体的な返済方法、前事業の縮小について話し合った。	新しい市場で新しい事を始めるにあたり、今までのやり方が通用しない事や見えないリスク、業界の先行きなどにとっても不安を感じた。
		関係者との調整	承継者の承継に対する不安
		それまでの取引先への前事業からの新事業への移行に伴う可能性とリスクについて話し合いや説明を行った。家族や取引金融機関への前事業での借入金の返済計画を話し合った。	製造業はこれから激しく変化する時代に柔軟に対応できるか。その変化のスピードについていけるのか。という不安があった。



**これに一番苦労した！**


被承継者に今までの経営ではいずれ破綻するという危機感を持ってもらう事、それらを時代の流れや変化と共に理解してもらう事にとっても苦労した。継承者・被継承者が同じ価値観を共有し、新事業に大きく舵を切る覚悟を双方が併せ持つ事がとても大事な事で、事業内容についてより沢山時間をかけて話し合った。

事業承継について相談したこと	
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容
商工会・商工会議所	旧事業から新規事業へ移行する際の経営的なサポート、事業計画の作成のアドバイス、事業承継補助金の紹介、事業承継補助金に関わる資料作成についてのアドバイス、個人事業の閉業、新規開業を伴う事業承継についてのアドバイスなどいろいろと役に立つ情報や方法を教えてもらった。
いつから相談？	
承継実行の	
相談のきっかけ	受けたかったサポートとしては、同じような境遇の方の事例紹介や事業承継前の準備段階での問題点や注意点、事業承継後の問題点や注意点などについての情報・アドバイスがあればと思った。実際に進みだすと短期間に事業計画や承継に伴う計画（個人事業の場合は閉業と開業のタイミングなど）を立てなければならぬのだが、そのスケジュールなどを具体的にアドバイスしてもらえたらもっと早い時点で実感をもって取組めたように思う。
公的機関（事業引継ぎ支援センター等）からの紹介	

## 新たな取組の標題

### ステージに関わる製品の開発と製造販売と地域イベントとの連携業務

新たな取組の内容	新商品の開発又は生産
<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまで建築や店舗内外装に伴う金属加工・設計全般の下請け業務を行ってきたが、建築関連事業から撤退して、金属加工の業務全般の中から主に劇場・ステージに特化した自社商品開発・製造販売を行い、ステージに関連した地域の野外イベント等のプロデュース業務を行う。</li> <li>●劇場・ステージ・舞台美術に関係する製品開発・製造についてはライブハウスへの納入が進み、イベント等で用いられる最先端の映像装置の開発製造については、自社で開発製造している「ウォータースクリーン」という噴出する水幕に映像を投影するシステムのレンタル事業に関する問い合わせが増え始めた。</li> <li>●立体的な造形物に映像をあてる「立体スクリーン」は、ジャポニズム2018の一環でフランス・ポンピドゥーセンターで行われた展覧会のエントランス・インスタレーションに採用されヨーロッパで話題となった。</li> </ul>	
	

地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳	
デンマーク郊外の文化事業に招聘され、地域の人々と大きなモニュメントを作るプログラムを企画したり、昨年、奈良県でおこなわれた国際映画祭のナイトイベントをプロデュースし夜間の賑わい作りに貢献した。		経費の主な使い道
	■ 設備費 ■ 外注費	設備費（事務所改装等工事費） 外注費（新規ホームページ作成費）
認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容		
<input type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成
<input type="checkbox"/> 補助事業の実施		

補助事業開始前はいろいろとアドバイスいただいていたが、開始後サポートは特に受けていない。

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	①インターネット販売の拡充・伴う専門的な人材の育成 ②舞台関連商品の開発と商品の拡充・伴う専門的な人材育成 ③新規事業の一環としてイルミネーション施設のプランニング・製造などに着手し、マーケットを開拓する。
売上高	100 %UP

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
我々が培ってきた技術や製作ノウハウは、より自由な発想によって大きく羽ばたくポテンシャルをもっているはず。出来るだけ早い時点でそれらを伝承し、若者たちの後盾となり、未来に繋げてゆくのは私たちの世代の使命だと思います。	今思うとそれまで全く無関係のように見えてた二つの事が実は事業の大きな要となっています。古い方法と新しい方法は全く違うように見えるのですが、片方は土に這う「根」で、もう片方は大きく広がる「枝葉」のような関係のように思えます。事業承継についてお互いの想いを時間をかけて話し合う事は、とても大事だと思います。